

氏名	山崎弘嗣	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	運動学				
学位	博士（学術）				
学歴	1997年 北海道大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業 2002年 東京理科大学工学部第2部電気工学科卒業 2006年 東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻修士課程修了 2011年 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了				
経歴	1997年～2006年 保健医療福祉関連施設で理学療法士として勤務 2007年～2014年 昭和大学保健医療学部理学療法学科講師 2015年～2020年 理化学研究所BSI－TOYOTA連携センター研究員 2021年～現職				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、計測自動制御学会、専門リハビリテーション研究会、日本基礎理学療法学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Characterization of anticipatory postural adjustments in patients with post-stroke hemiplegia using smartphones.	共著	あり	○	Clin Biomech127:106603	Onuma R, Hoshi F, <u>Yamasaki HR</u> , Soutome Y, Sakai T, Jinno T	2025年7月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	マーカレス動作計測に基づくBody Member変換指標による身体部位間協調性の再構成の定量評価	共同	計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2025（LE2025）・千葉市		○ <u>山崎弘嗣</u> 、関口陽介、関根陽平、村田佳太、石井貴朗、小林朋貴、藤郷紀美、古澤浩生、天草弥生		2025年9月
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	運動方略の個別性に関与する自律神経状態の影響～安静心拍変動とタッピング課題による予備的検証～	単著	埼玉県立大学奨励研究報告書		○ <u>山崎弘嗣</u>		2026年2月
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	埼玉県立大学奨励研究費	Exploring Innovative Personalized Stroke Rehabilitation: AI-Assisted Monitoring of Motor Coordination and Neuroplasticity		研究代表者		2025年6月～2026年2月	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	スタートアップ・セミナー		15	初年次学生の導入として主体的課題解決型学習の方略理解を目的とする講義演習科目			
2	運動制御と運動学習	○	8	身体の協調運動や平衡保持を達する運動制御と学習の諸理論、リハビリテーション・理学療法分野との連関も含む入門編。			
3	理学療法特別演習	○	15	理学療法士国家試験基準に準ずる領域別解説講義			
4	運動解析学特論（大学院）	○	15	身体運動の生成機構の理解と運動解析の技法を学習する講義			
5	理学療法学概論	○	8	理学療法と理学療法士についての入門講義			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	発達障害理学療法学実習	○	23	姿勢・運動・認知機能の発達過程と発達を促すための理学療法技術を学習する演習
2	神経障害理学療法学実習		23	各種神経障害の特徴と理学療法の目的や方法を学習する実技演習
3	神経診断学実習		15	各種神経障害の特徴及び理学療法評価技術を学習する実技演習
4	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）	○	5	臨床教育実習Ⅱに向けた臨床技能の客観的評価を行う実技試験
5	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）	○	3	臨床教育実習ⅢおよびⅣに向けた臨床技能の客観的評価を行う実技試験
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅲ	○	学外実習：8週間 学内：2コマ	理学療法の評価・治療の実践を学習する総合学外実習
2	臨床教育実習Ⅲ	○	学外実習：5週間 学内：2コマ	地域理学療法の実践を学習する総合学外実習
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 4名
3	博士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	博士論文審査	2025.4～2026.3	博士前期1名	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	高校出張講座	県外高校	からだを動かす原理の探求と理学療法・リハビリテーション	2025.10～12
2	IBITA Congress 2025	IBITA	Qualitative Movement Analysis	2025年8月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	専門リハビリテーション研究会		運営審議委員	2025.4～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター教育システム開発部門		2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2025.4～2026.3
3	学科等における委員会等	国家試験対策担当		2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			